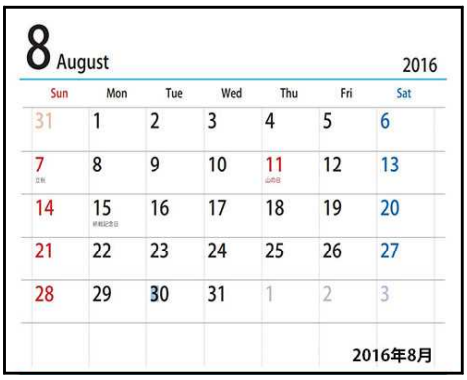
阿賀野市立 京ヶ瀬中学校
～ http://kyogase-jhs.agano.ed.jp/ ～ 京ヶ瀬中学校
〒959-2123
阿賀野市姥ヶ橋739
TEL0250-67-2004
27-09号
平成27年12月22日発行

今年１年を振り返り、来年を展望する

校　長　長谷川　敦

今年も、もう一年が終わるのかというくらい、時の過ぎるのが速く感じられるこの頃です。さて、今年の京ヶ瀬中学校は「秋桜祭（体育祭）」も「合唱コンクール」も、生徒会を中心とした生徒たちが新しい企画や取組で新たな歩みを着実に進めていると感じられる行事にしてくれました。また、11月30日には「いじめ見逃しゼロスクール集会」を行い、資料「瞳、輝くとき」を用いて自らの考えを表明し、なぜそう考えたかの根拠を示し、他の考え方を理解したり、質問や反論を考えてきました。今年は、京ヶ瀬小学校の６年生にも事前に資料を読み、考え、一緒に参加してもらいました。もう４か月後には中学生の仲間となる６年生もしっかりと考え、発表し、児童生徒がお互いに心がつながるすばらしい一時となりました。



さて、今年一年を振り返り、来年を展望する時期となりました。来年は、「国民の祝日」として新たに「山の日（８月11日）」が設けられることになりました。国民の祝日に関する法律の一部が改正され、平成28年１月１日から施行され、「国民の祝日」の年間日数は16日となります。ちなみに、８月11日の山の日は、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日」です。また、成人の日は、１月の第２月曜日で、「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝い励ます日」であり、２月11日の建国記念の日は、「建国をしのび、国を愛する心を養う日」となっています。

2016年の干支（えと）は丙申（ひのえさる）です。干支は年賀状を書く人ならきっと年末ごろになって意識するはずです。動物で言えば、申年（さるどし）です。「さる」は十二支の１つ。「ね、うし、とら、う、たつ…」と言ったように12年間隔で繰り返します。「ひのえ」の部分は干（かん）と言って、同じように10種類を１年ずつ繰り返します。干が10個で十干、支が12個で十二支、それが組み合わさって干支（えと）となり、全部で60種類となります。

60年ぶりにやってきた丙申。この丙申の文字の意味を考えると、丙は「形が明らかになってくるころ」という意味があります。申は「果実が成熟して行って、固まって行く状態」を表しています。したがって、「形が明らかになってくる」、「実が固まっていく」ということです。

来年が京ヶ瀬中学校にとっても、これまでの努力の成果が表れ、実という形となってくるよう願うばかりです。

いじめ見逃しゼロスクール集会

いじめ見逃しゼロスクール集会終了後、生徒に感想をたずねました。

Ｑ１．あなたは、良平役として劇に出演されましたが、参加してみてどうでしたか。

Ａ１．劇なのに、すごく辛い気持ちになってきました。いじめられているのも辛いし、いじめている人を見るのもなんだか辛くなってきました。

Ｑ２．練習の様子を聞かせてください。

Ａ１．だんだん先生のかけ声も大きくなり、まわりの人の演技も激しくなり、本当にいじめられているような感じになりました。

Ｑ３．あなたは、先ほど発言していましたが、発言してみてどうでしたか。

Ａ２．去年は発言できなかったので、自分の気持ちとかを言えてよかったです。

Ｑ４．道徳の時間で考えていたときの考えと、今とでは自分の考えは変わりましたか。

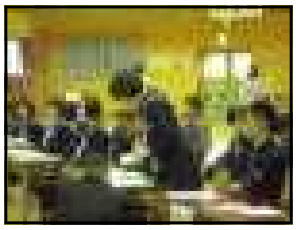
Ａ２．最初から変わっていません。自分の考えを押し通してきました。

Ｑ５．６年生のあなたは、今日参加してみてどうでしたか。

Ａ３．一応８グループにいたけど、自分に近い意見はあまりなかったです。８グループは、いじめのことを問題にしていなくて・・・。自分の意見としては、明菜にメールの誤解を解かせるように、他の人つまり達也や敬子が明菜にちゃんとやってというべきです。（８グループは「その他」の意見のグループとなっていました）

Ｑ６．６年生のあなたは、今日の集会に参加してどうでしたか。

Ａ４．あらためて、いじめをなくそうという気持ちが出てきました。劇は、とてもリアルだったので、最初に資料を読んだときよりも、もっとよくいじめられている人の気持ちがわかりました。



全校綱引きの感想

「優勝とリベンジできたうれしさ」

１年１組　○○　○○

５月の綱引き大会では３年２組に負けて、結果は２位でした。今回の綱引き大会では、前回のリベンジを果たしたいという気持ちで戦いました。しかし、今回も最終的に３年２組と戦うことになり、不安な気持ちでした。ですが、やってみると１年１組のみんなが頑張ってくれ、勝つことができました。とてもうれしかったし、リベンジができてよかったなと思いました。優勝もできて最高でした。

学習指導部より

１２月のＷｅｂ配信問題の結果です。１教科のみ県平均と同等でしたが、どの学年も県平均を大きく上回りました。

２学期の学習の様子を振り返ると、Ｗｅｂ配信問題はどの月もほぼ県平均を上回ることができました。これは、日頃の授業で多くの生徒が意欲的に参加し、落ち着いた雰囲気の中で学習をしていること、宿題をきちんとやってくる生徒が多いことが要因としてあげられます。

【１２月結果】

		国語	数学	英語
		平均正答	平均正答	平均正答
１年	県内全体	8.1	6.3	7.2
	京ヶ瀬中学校	8.4	6.3	7.7
２年	県内全体	8.7	7.0	7.0
	京ヶ瀬中学校	9.5	8.2	7.3
３年	県内全体	6.8	6.1	7.9
	京ヶ瀬中学校	7.3	6.3	8.6

２学期は「学び合い」を取り入れた授業が多く見られました。生徒が互いに教え合い高め合うことにより、関わり合いが１学期よりうまくなってきました。３学期も引き続き互いに考えや意見を述べ合う場面を多く設け、学力向上につなげていきます。また家庭学習では、時間や質の面で個人差が大きくなっています。家庭学習の進め方について３学期は力を入れていきたいと思います。

職員雑感

「県内美術鑑賞」

教諭　○○　○○○

県内で水と土の芸術祭や大地の芸術祭など、身近な地域で芸術祭が行われるようになってから、美術科の一部の資料集に新潟県で見ることができる作品が多く掲載されるようになってきた。中には県内の高校の先生をしながら制作を続けている作家の作品もある。作品はほとんどが芸術祭終了後は撤去されるが、屋外に展示され続ける作品もある。身近で美術作品を鑑賞できる機会が増えてきたと感じる。

今年は新潟市美術館の３０周年記念でリバプール国立美術館所蔵のラファエル前派展があった。ＮＨＫの『日曜美術館』でも紹介された。内容もバーン=ジョーンズ、ロセッティ、ウォーターハウスなど、ラファエル前派を代表する画家の作品が多くあって、見ごたえがあった。京ヶ瀬中学校の文化部でも、希望者で見に行った。夏休みの平日に行ったので、人はあまり多くなく、学芸員の方が私たちのために解説をしてくださり、生徒からの質問にも丁寧に答えてくださった。東京でこの規模の美術展が開催されたら、平日でももっと人が多くて、中学生の人数の少ないグループに解説をしてはもらえないだろうな、と思った。

東京で人気のある美術展に行くと、並んでチケットを購入して、展示室に入っても並び、人と人の間から作品を見たりすることがある。最近では、新津美術館の山本二三展など美術館の外まで並ぶ美術展が時々開催されることもあるが、たいていはゆったりとした空間で作品を鑑賞することができる。東京国立博物館の新春特別公開で展示される長谷川等伯の『松林図屏風』は小さな展示室にそれ１点しか展示されない。毎年見ているわけではないが、私が見に行ったときは、屏風の前に３、４人座ることができる椅子が置かれ、座って鑑賞することができるようになっていた。鑑賞する環境は大切だと思う。ゆっくり自分のペースで見ることのできる新潟県は恵まれている。よい美術展がたくさん開催されるといいと思う。

平成２８年度　生徒会役員選挙の結果

生徒会長	２年２組	○○	○○
副会長男子	２年２組	○○	○○
副会長女子	２年１組	○○	○○
書記長	２年１組	○○	○○
応援団長	２年２組	○○	○○

来年度の京ヶ瀬中学校のリーダーとして頑張ってほしいと思います。

２学期のオープンスクール

教務主任　○○　○○

２学期は、５回のオープンスクールを実施し、延べ９７名（秋桜祭、合唱コンクール参観者を除く）の方に学校に足を運んでいただきました。

秋桜祭、合唱コンクールの他に、総合的な学習の時間発表会やいじめ見逃し０スクール全校集会、生徒会役員選挙など、様々な行事があり、授業のときとは違う、生徒たちがいきいきと努力する姿を参観いただけたと思います。

また、進路説明会や学年懇談会では、直接保護者の方々とお話しする機会がもて、様々なご意見等いただけてありがたく思います。

オープンスクールの際にご記入いただいた参観アンケートの結果をみると､「授業がわかりやすいか」、「生徒は笑顔で生活しているか」、「学校に活気があるか」などのすべての項目で高い評価をいただきました。　また、参観されて気づいた点では、

・生徒のあいさつがとてもいい。
・行事などに明るく前向きに取り組んでいてよい。
・授業の雰囲気がよく、生徒が活発に意見を述べたり、活動している。
・掲示物（レポート、たより等）に興味をもてた

など、生徒一人一人が目標をもち、日々努力する様子についてのご意見を多くいただきました。これらの意見は日々の教育活動にいかすと共に、折をみて生徒に返し、それが生徒にとっての励みとなっています。

３学期も２回のオープンスクール（１月は日程を変更し、１月３０日（土）阿賀野市一斉オープンスクールとなりました。）を予定しております。是非多くの方に学校に足を運んでいただき、生徒の学習の様子をご覧いただき、多くのご意見をいただきたいと思います。

Go to the next　　December

自分について考えることの大切さ

生徒指導主事　　齋藤　佑

今日で２学期が終了です。全校生徒は学習面・生活面・部活動面などで２学期を振り返りました。

自分をどこまでも振り返っていくことは大切だと痛感しています。「自分を振り返る」とは、単にその日一日の自分を振り返ることではなく、今の自分の心の在り方や考え方について、果たしてこれで良いのかと振り返ることだと思います。

振り返ることによって、自分の至らないところ、だらしないところが少しずつ見え始めます。「こういうところが自分は至らなかった」「本当に気恥ずかしい」などと自分を見つめられるようになって、初めて「自分を悔い改める心」も出てきます。逆に、自分を振り返ろうとしない心には心の成長はなく、とどまってしまうことが多いものです。

不都合なことが起こると他人のせいにしたり、責任転嫁したり、逆恨みをしたりすることがあります。そうするのは心が育っていないからです。心が育つとは、自分を的確に、客観的に振り返ることができるようになることだと思います。

自分の言動に間違いがあれば、直ちに「スミマセンでした！」と言える人って素晴らしいです（私も自分に言い聞かせています）。自分の言動に責任をもつ。それが人から信頼される始まりだと思います。ただ口先だけではなく、心の思いがただよう人間性をもつためにも、どこまでも「自分を振り返っていく」習慣を身に付けていきたいものです。

また、自分の行動は正しいか正しくないか、自分で考えることができるようになってもらいたいと思います。「言われていないから」いいだろうと判断を誤ってしまい、指導を受けた人もいました。学校生活に必要のないものの持ち込みが残念ながらあったこともありました。「正しく判断し、自主的に行動する生徒」とは、言われていないからOKだと考える生徒像ではありません。善いか悪いかを正しく判断できる生徒です。３学期は節目の学期です。充実した学校生活が送れるよう、冬休みの生活を充実させてください。

11月～12月の生徒の様子について

○うれしかったこと

○　「バス登下校の乗車態度やあいさつがとても良い」と報告を受けました

12月7日からバス登下校が始まりました。初日に運転手さんは「あいさつがとても良いです」「乗車中も落ち着いています」と話されていました。「バストラブル０」を掲げ、取り組んでいます。

○　新たなリーダーがきまり、本格的に次世代にバトンタッチします

12月9日に生徒会役員選挙の立会演説会、投票があり、新本部役員が選出されました。新専門委員長も来月には決定します。３年生が築き上げた良き伝統を引き継ぎ、新たなる京ヶ瀬中学校を引っ張る存在としてがんばってほしいです。

事故や問題行動のない充実した休みに！！

特にご家庭にお願いしたいこと

先日、全校生徒に「有意義な冬休みを過ごすために」というプリントを配布し、冬休みの生活の仕方について指導いたしました。また、保護者の皆様にも同様の文書を配布させていただきました。

「学校・家庭・地域」で見守る「京ヶ瀬中学校マナー向上計画」

生活：計画的で節度のある生活を送ろう。

学習：家庭学習は計画的に行い宿題は早めにしよう。

１　子どもたちの生活のマナーについて

- 市立図書館等、公共施設の利用についてはマナーを守って利用する。
- 生徒同士だけで遊技場に出入りしない。
  （ゲームセンター・カラオケボックス・飲食店など）
- インターネット利用はご家庭でルールを決めて利用する。（トラブルに巻き込まれないよう）
- 夜間外出・外泊は**「しない・させない・許さない」**
- 法に触れる行為は**「させない・許さない・見逃さない」**

２　交通安全について

- 積雪時、降雪時、凍結時は自転車に乗らない。
- 学校にお子様を送迎の際は、必ず村体前で乗降をお願いします。
  （校門前や校地内での乗降は大変危険です）